

年 組 名前：

【 記事<sup>きじ</sup>を先生<sup>せんせい</sup>や家族<sup>かぞく</sup>に  
読んで<sup>よ</sup>もらうか、  
自分で<sup>じぶん</sup>読<sup>よ</sup>んだ後<sup>あと</sup>に、  
答<sup>こた</sup>えてください 】



問1

黄色<sup>きいろ</sup>のミモザの花<sup>はな</sup>は、なにのシンボルと

されていますか。

.....

問2

ミモザの花<sup>はな</sup>の特徴<sup>とくちゆう</sup>を答<sup>こた</sup>えてください。

.....

### ミモザ 高まる人気

国際女性デーを前にミモザであふれる生花店「クックルック」の店内  
|| 北杜市高根町村山北割 (撮影・露田圭吾)

8日は「国際女性デー」。イタリアでは「ミモザの日」として女性に黄色のミモザの花を贈る習慣があり、ミモザは国際女性デーのシンボルの一つになっている。  
北杜市高根町村山北割の生花店「クックルック」では、毎年この日の前後、ミモザの花を仕入れており、ふわふわとした丸い黄色の花は、店内でひときわ目を引いている。オーナーの松沢美帆さんによると、国際女性デーの花としても知られるようになり、より人気が高まっているという。  
松沢さんは「ミモザはブーケやスワッグにしたり、ドライフラワーとして飾ったりするのもすてき。でも、まずはこの時期ならではの生花を楽しんでほしい。自分も女性デーについて考えるきっかけにしたい」と話している。  
〈渡辺真紗美〉

(2023年3月8日付 山梨日日新聞1面)

問3

生花店<sup>せいかにてん</sup>のオーナーは、ミモザをどのようにしたり、どのように飾<sup>かざ</sup>るとすてきと話<sup>はな</sup>しましたか。

.....

問4

ミモザ以外<sup>いがい</sup>で、あなたが知<sup>し</sup>っている黄色<sup>きいろ</sup>い花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>く花<sup>はな</sup>を、たくさん書<sup>か</sup>いてください。

.....